

研修名	<b>専門課程 鉄道行政〔応用〕 【集合】</b> (平成元年度～：平成19年度まで「鉄道行政」、平成20年度～：鉄道行政〔基礎〕・〔応用〕に分割)					
目的・重点事項	鉄道行政に関するさらなる知識の修得及び業務の適切かつ円滑な遂行を図ることを目的とする。年度始に実施する〔基礎〕研修における効果をより高め、かつ現場業務での実践対応に資するため、業務経験を踏まえた半年程度後に当研修を実施 以下の各点を重点項目とする。 ① 当面重要となっている事案を重点とした課題解決型の講義の実施 ② 各運輸局鉄道部計画課に設置された地方鉄道活性化窓口において鉄道事業者、地方自治体等からの相談に対応するため、これらに関する講義及び課題研究の実施 ③ 業務監査や運賃改定等の業務を実践的に解説する講義の実施					
対象者	本省、地方運輸局、内閣府沖縄総合事務局及び独立行政法人に勤務する職員で、鉄道行政〔基礎〕研修修了者又は鉄道行政に携わった経験があり、さらなる知識の向上を目指す者等（行政実務研修員等を含む）					
定員(人)	国土交通省	他府省	地方公共団体	独立行政法人等	団体	計
	19	1		8		28
研修期間	<del>21. 25-28. 7-5</del> 時間 <del>4-5</del> 日間			令和5年10月 <del>17-16</del> 日（ <del>火</del> ）～ 令和5年10月20日（金）		
カリキュラム内容 (予定時間)	1. 講義 ( <del>12. 5-9-5</del> ) ① <del>財務分析、補助金業務の審査、地域鉄道支援策の課題とその検討方策、補助金業務の審査、地域鉄道支援策の課題とその検討方策、国鉄改革、中小民鉄事業者の収入原価算定容量に沿った審査、地域公共交通確保維持改善事業費補助金（バリアフリー化等）監査のポイント、国際関係等</del> <del>(10. 0-4-75)</del> ② <del>外部講師による講義 (2. 5-3-25)</del> ③ <del>講話等 (1. 5)</del> 2. 課題研究等 ( <del>3. 5-2-0</del> ) 運輸局等別の課題発表・討議 3. 体験実習 ( <del>4. 0-6-0</del> ) (令和元年度：東京地下鉄株式会社総合研修訓練センター、南砂町駅改良工事等) 4. その他 (1. 25) 入校式、修了式 等 計 <del>21. 25</del> <del>28. 75</del>					
前年度からの 主な変更点	・定員増（20人→28人）					
担当	柏研修センター教務課（TEL：04-7140-8777） [募集・内容について] 鉄道局総務課（TEL：03-5253-8522）					
備考						